

令和5年度 第1回 大田区SDGs推進会議

－ 事務局資料 －

1 SDGs未来都市の選定について

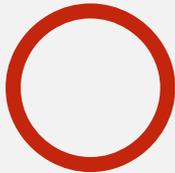
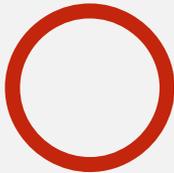
1 SDGs未来都市の選定について

2023年度SDGs未来都市の選定について

- 大田区の提案が内閣府の2023年度SDGs未来都市に選定された。
- また、SDGs未来都市の中でも特に優れた10都市のみが選定される自治体SDGsモデル事業にも選定され、いわゆる「ダブル選定都市」となった。

2023年度SDGs未来都市

2018年度から2023年度までの選定都市数

SDGs未来都市 【28都市】	モデル事業 【10都市】
大田区 選定	大田区 選定
	

選定都市数 / 全国自治体数

182 / 1788

うちダブル選定都市

60 / 1788

1 SDGs未来都市の選定について

令和4年度第4回大田区SDGs推進会議から未来都市選定までの経過について

前回会議から 未来都市選定までの経過

2023年

- 1月19日 ● ✓ 令和4年度第4回
大田区SDGs推進会議を開催
- 2月22日 ● ✓ 内閣府に
SDGs未来都市提案書を提出
- 3月28日 ● ✓ 内閣府から
ヒアリング対象都市選出の連絡有
- 4月21日 ● ① ✓ 内閣府によるヒアリング
- 5月19日 ★ ✓ 内閣府が選定結果を公表
SDGs未来都市、
自治体SDGsモデル事業のダブル選定
- 5月22日 ● ② ✓ SDGs未来都市選定証授与式の開催

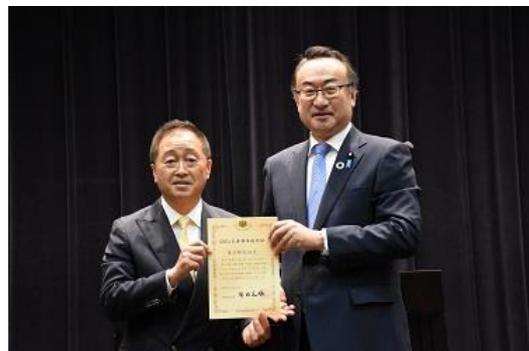
① 内閣府によるヒアリング 4月21日

- 自治体SDGsモデル事業の取組について、
10分間のプレゼンテーションをPiOPARKにて実施



② SDGs未来都市選定証授与式の開催 5月22日

- 2023年度のSDGs未来都市選定都市が出席し、
中央合同庁舎第8号館にて開催された
- 鈴木区長が岡田地方創生担当大臣より選定証を授与された



2 SDGs未来都市に関する今後の流れ

2 SDGs未来都市に関する今後の流れ

自治体SDGs推進評価・調査検討会による講評・コメント

自治体SDGs推進評価・調査検討会

- SDGs未来都市提案書の評価
- SDGs未来都市計画の策定及び計画に基づく取組実施についての助言や支援等

審査委員



村上 周三

一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター
理事長/
東京大学名誉教授



秋山 弘子

東京大学名誉教授/
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授



浅見 泰司

東京大学大学院工学系研究科教授



小田切 徳美

明治大学農学部教授



蟹江 憲史

慶應義塾大学大学院政策・
メディア研究科教授



城山 英明

東京大学大学院法学政治学研究科教授



神成 淳司

慶應義塾大学環境情報学部教授



関 幸子

株式会社ローカルファースト研究所
代表取締役



竹本 和彦

東京大学未来ビジョン研究センター特任教授/
一般社団法人海外環境協力センター理事長



藤田 壮

東京大学大学院工学系研究科教授

※内閣府地方創生推進室「地方創生SDGsの取り組みについて」から引用

自治体SDGs推進評価・調査検討会による講評・コメント

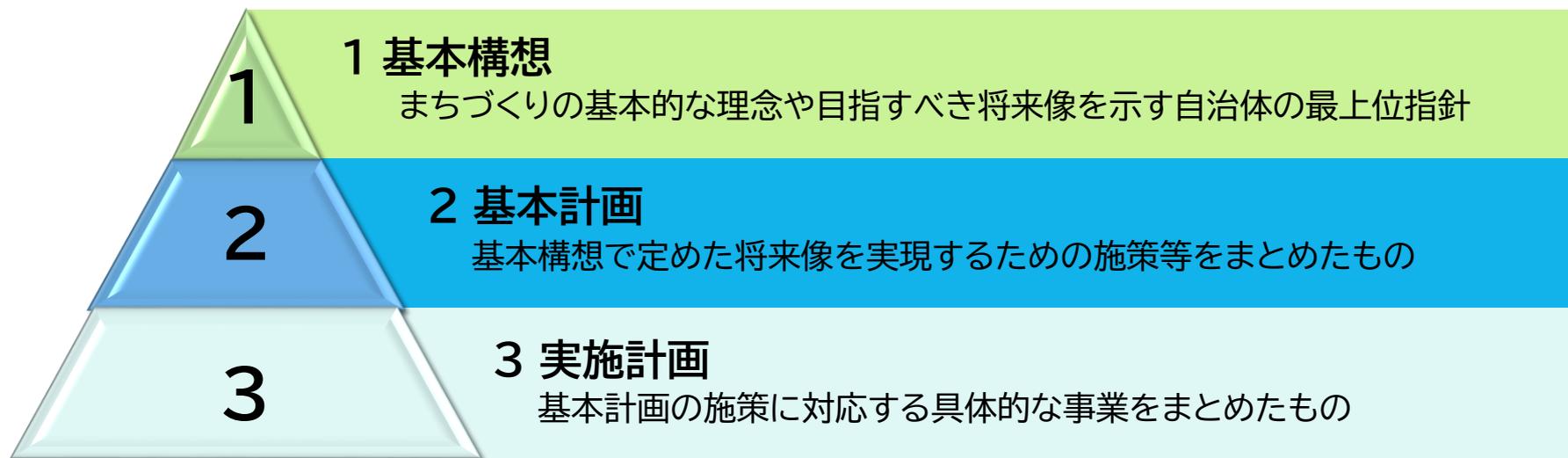
- SDGsの持続可能性との観点から「稼ぐ力」は重要である。
「区内企業の「稼ぐ力」を向上させ、補助金等に頼らない形での自走を推進」との記載は的確であり、民間と力を合わせて事業を推進するという点は高く評価できる。
- 海外を視野に入れ持続的なイノベーションの仕組みを日本で作るという志を示し、日本のモデルとしてより海外に視点を置いた技術開発や人材交流などのプログラムの実践を強く期待する。
- HANEDA GLOBAL WINGSが日本のSDGsの拠点になると良いと思料する。
- 日本では複数企業の協業によるイノベーションが難しい状況にあるため、仲間まわし(地域内での分業体制)について長い歴史がある点は、素晴らしい強みであると思料する。
- HANEDA GLOBAL WINGSの規模を考えると、水素利活用以外にも様々な事業について可能性があると思料する。羽田全体の意識付けのため、食料などを集めたバイオ燃料や食品ロスのプロジェクトなど、より様々な取組をHANEDA GLOBAL WINGSで実施することを期待する。
三側面の相乗効果がさらに期待できる。
- ものづくり大田の実績を土台に羽田を中心とした新産業振興へと舵を切る提案と思料する。

SDGs未来都市計画策定に向けた流れ

- ✓ SDGs未来都市提案において示した内容を基に素案を作成
- ✓ 8月上旬に予定されている内閣府との意見交換を踏まえ、SDGs未来都市計画を策定

新たな大田区基本構想の策定について

■ 総合計画の体系



■ 新たな大田区基本構想の策定

- ✓ 現在の大田区基本構想は、策定から約15年が経過
- ✓ この間、少子高齢化の進行や気候変動、新型コロナウイルスの流行という未曾有の危機などにより、区を取り巻く社会情勢や区民の生活様式が大きく変化

新たな大田区基本構想の策定に着手

SDGs推進会議における検討を基本構想や基本計画に反映

3 SDGs未来都市に関するPRについて

3 SDGs未来都市に関するPRについて

既に実施した内容

01 | HP・SNSによる周知

- ✓ 未来都市選定に関する専用ページを作成
- ✓ 目立つようにHPの最上部にリンクを特別に作成
- ✓ 区の公式Twitter及びLINEを使い、未来都市に選定されたことを幅広く周知



02 | 職員名刺へのロゴ記載

- ✓ 名刺にSDGsのカラーホイールを用いたSDGs未来都市のロゴを掲載



3 SDGs未来都市に関するPRについて

既に実施した内容

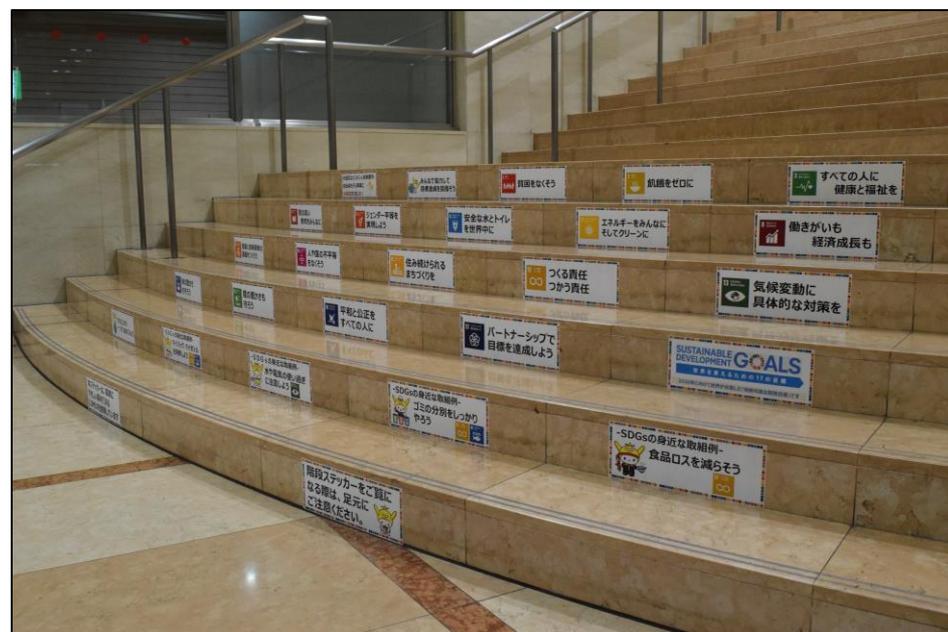
03 | ショート動画の作成

- ✓ 大田区のSDGs未来都市の提案内容を1分間で紹介する動画を作成
- ✓ 区の公式YouTubeで公開し、HPやSNSでも周知



04 | 階段へのステッカー掲示

- ✓ SDGsのゴールや身近な取組を記載したステッカーを本庁舎の階段に掲示
- ✓ ステッカーの素材は、石灰石を主原料としており、環境にも配慮



3 SDGs未来都市に関するPRについて

今後実施する予定の内容

01 | 区オリジナルロゴマークの作成

- ✓ SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業への選定を記念し、大田区オリジナルのSDGsロゴマークを作成
- ✓ 複数案を提示し、区民・事業者等の投票によりデザインを決定
- ✓ 投票の時期は令和5年8～9月頃を予定しており、投票に当たっては、全区立小中学校の児童・生徒にも協力を呼び掛ける

03 | デジタルサイネージ等を活用したPR

- ✓ サイネージをはじめ、デジタルツールを活用したPR手法の実施を検討

02 | 横断幕・ステッカーの掲示

- ✓ 庁舎内外にSDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業にダブル選定したことの横断幕等を掲示





①「未来都市計画の策定・推進」 「2030年17ゴール達成に向けた検討」

- ✓ SDGs未来都市計画を策定し、計画を着実に推進
- ✓ 大田区SDGs推進会議を軸に、2030年全17ゴール達成に向けた検討



②未来都市選定を契機としたプロモーションの実施

- ✓ SDGs未来都市に選定されたことや計画の内容を積極的にPR
- ⇒ まちのブランドイメージの向上、オールおおたでSDGsを推進するための機運醸成

🚩 オールおおたでのSDGs推進をより一層加速